



同い年のお助け隊です
チューリップの花つみ作業

3月定例会

P2~3 新年度予算の使いみち

P8~13 一般質問 村政に **喝**

P14~15 追跡 村道2号線交差点

P16~17 村民インタビュー
7自治会長に聞く

予算の使いみち

* 当初予算 4 会計 *

● 一般会計	24億4,518万円
● 国民健康保険事業勘定特別会計	3億7,356万円
● 後期高齢者医療特別会計	4,612万円
● 下水道事業会計	●収益的収入 1億7,061万円 支出 1億6,604万円 ●資本的収入 274万円 支出 4,220万円

**第1回
定例会
3/2~3/23**

新規

複合的な子育て支援施設の
建設に向けた新築工事・
解体工事の実施設計の委託

7,500万円



♥ 保育所・児童館・子育て支援センター・民俗資料館それぞれの機能を生かした複合施設建設のため、令和2年度は設計を見込んでいます。
財源は、ふるさと納税による「夢はぐくむ村づくり基金」

継続

海浜運動公園
施設の運営・維持
管理と調査委託

930万円



♥ 有料公園施設(キャンプ場・芝生広場・多目的広場・テニスコート・ゲートボール場)の管理人 3名
♥ 指定管理に向けた調査の実施 1名



3月定例会では、条例改正11件、令和元年度補正予算等6件、新年度予算4会計について、審議しました。令和2年度一般会計予算を除く案件については、すべて全会一致で可決しました。

予算審査
特別委員会で
徹底審議！

新年度

100万円



村内で大量に発生する廃菌床を有効利用し、ネギ・ブロッコリーを試験栽培して、地域資源循環型農業の実現をめざす

継続

廃菌床堆肥を使う
農作物の栽培委託

今年の仕事は
どんな
もの？

継続

高齢者(65歳以上)へ
うなばら荘の
利用券配布など
(1人 ¥2,000)

360万円



高齢者への慰労の意を表し、家族との交流も深まる



1,700万円

1・3・4・5学年を2クラスにするため加配教員を配置する

継続

小学校の全クラスを
30人学級に

審査後の意見

〔住民課〕

- * 村営住宅の空き家の解消を
- * 男女共同参画事業の推進を

〔保育所〕

- * 小規模保育所との連携を図り、指導事項の共有を
- * 多目的トイレの設備の検討を

〔福祉保健課〕

- * 保育所複合施設設計に子育て専門家や村民参加の推進を
- * 子育て支援の取り組みにヴィレステひえづの活用を

- * 児童館には正規職員の配置を

〔教育委員会〕

- * 人材育成交流事業は、派遣のあり方についての検討を
- * 図書館の利活用を

〔建設産業課〕

- * 海岸の松林の管理を徹底して、景観の保全を
- * 廃菌床の試験農場での経過と結果の報告を

〔総務課〕

- * 会計年度職員も含めた職員の研修の充実を
- * ふるさと納税の使途情報が、村民にわかるように

案

否決されるも、

条例改正・補正予算など、審議採決の結果

主な条例改正

○役場の機構改革

4月より「総合政策課」を新設、就職・移住定住・結婚支援などの窓口を設ける。これまでの総務課協働推進の業務、建設産業課の都市計画・開発などを引き継ぎ、各課施策の総合調整も行う。(議案第2号)

○臨時・非常勤職員

「会計年度任用職員」に国の法改正に基づき、役場の臨時・非常勤職員(約130名)を廃し、4月より「会計年度任用職員」に移行・採用するもの。期末手当支給など、該当職員の処遇の改善が図られる。(議案4・5・11号)



▲役場、ヴィンステヒえづ、小学校、保育所など各所に配置されている会計年度任用職員

○村長等の給与アップ

昨年の人事院勧告に準じて、村長、教育長及び議会議員の期末手当を0・05月アップする。(議案第6・7号、発議1号)

令和元年度 予算の増額補正

〔一般会計(第6回補正)〕

○歳入歳出とも、4285万8千円を増額

歳出増額の主なものは、道路改良のための

用地購入や建物移転補償(4200万円)、うなばら福祉事業団への補助金(2100万円)、GIGAスクール整備工事※(1760万円)、ふるさと納税のアップに伴う基金への積み立て(500万円)及び寄付者記念品(150万円)、路線バス運営負担金(108万円)など。

※GIGAスクールは、IT時代に対応した教育をすすめる構想。児童への個別指導など多様な教育活動のために、一人一台のタブレット端末を整備する。また校内の通信ネットワーク環境のレベルアップを図る。



▲小学校のGIGAスクールをすすめる

〔国民健康保険事業勘定特別会計(第3回補正)〕

○歳入歳出とも88万1千円を増額

歳出増額の主なものは、保険給付の減額に伴い、国保運営基金積立金が173万円の増となった。

〔後期高齢者医療特別会計(第3回補正)〕

○歳入歳出とも12万4千円を増額

後期高齢者医療広域連合への負担金12万4千円のアップによるもの。
〔公共下水道事業特別会計(第3回補正)〕
○歳入歳出とも、17万2千円を増額
施設修繕料17万2千円の増。

新年度一般会計予算 修正動議

**新年度予算の減額
を求める修正動議**

令和2年度一般会計
予算案のうち、「土木
費・公園費の委託料2
88万7千円」の減額
修正を求める動議が、
前田・三島2名の議員
により提出された。

その提案理由の説明
(前田議員)に続いて
反対討論(山路議員)
が行われ、採決の結果、
賛成少数(2名)によ
り修正動議は否決され
た。

【解説】予算の修正

予算の提案権は首長
にあります。地方自
治法の規定に基づき、
議会はそれをチェック
し予算の修正を求める
ことが認められていま
す。今回の動議は、予
算の一部削減を求めた
ものです。

【提案理由】

村民の財産である海
浜運動公園に、2年後
「指定管理者制度」を
導入するための調査と
して、新年度、民間業
者へ委託する進め方は
問題あり。いくつもの
課題に検討がなされて
おらず、村民にも説明
されていない。行政の
チェックを責務とする
議会として認めるべき
ではない。

【反対討論】

この度の村執行部の
進め方は、説明不十分
であったが、中田村政
にとっては初めての当
初予算案である。
村長の予算提案権を
尊重し、その一部を修
正するという動議に反
対する。

議案審議の結果

◇議案（全会一致で可決されたもの）

議案番号及び件名	議決結果
(2号) 日吉津村の課制設置条例の一部改正	原案可決
(3号) 日吉津村監査委員条例の一部改正	原案可決
(4号) 日吉津村職員の服務宣誓に関する条例の一部改正	原案可決
(5号) 日吉津村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決
(6号) 日吉津村長の給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決
(7号) 日吉津村教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正	原案可決
(8号) 日吉津村における部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくす条例の一部改正	原案可決
(9号) 日吉津村被災者住宅再建等の支援に関する条例の一部改正	原案可決
(10号) 日吉津村村営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決
(11号) 日吉津村非常勤職員及び臨時的任用職員の任用等に関する条例の廃止	原案可決
(12号) 令和元年度日吉津村一般会計補正予算(第6回)	原案可決
(13号) 令和元年度日吉津村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3回)	原案可決

議案番号及び件名	議決結果
(14号) 令和元年度日吉津村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)	原案可決
(15号) 令和元年度日吉津村公共下水道事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決
(17号) 令和2年度日吉津村国民健康保険事業勘定特別会計予算	原案可決
(18号) 令和2年度日吉津村後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
(19号) 令和2年度日吉津村下水道事業会計予算 解説：新年度から、日吉津村の下水道事業は、地方公営企業法の適用に伴い、従来の特別会計から公営企業会計へ移行します。	原案可決
(20号) 南部箕蚊屋広域連合規約の変更協議	原案可決

◇賛否の分かれた議案

議案番号及び件名	議決結果
(16号) 令和2年度日吉津村一般会計予算	賛成多数可決

◇その他主なもの（議員発議）

発議番号及び件名	議決結果
(1号) 日吉津村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決

*議案等の件名については、適宜短縮しています。

陳情5件を審査しました

3月定例会では、5件の陳情が提出され、「総務経済常任委員会」と「教育民生常任委員会」に付託されました。各委員会では「採択」「不採択」を決定し、本会議で報告。本会議では委員長の報告に対し、賛成・反対の立場から討論を行い、その後、全議員により陳情原案の採決を行いました。

【総務経済常任委員会】

陳情第1号 女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める陳情
 【陳情者】新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子

委員長報告 採択	【反対】 松本議員	政府は、すでに当該内容を検討している。 村議会の権限に属さない。	本会議決定 不採択
	【賛成】 前田議員	男女格差において日本の121位は不名誉である。 村も男女共同参画を推進しており、その意思を表明すべきである。	

陳情第2号 選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書提出を求める陳情
 【陳情者】新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子

委員長報告 採択	【反対】 松本議員	国も重要な問題としている。国民にも様々な意見がある。 村議会の権限に属さない。	本会議決定 不採択
	【賛成】 三島議員	姓は個人として尊重される基礎であり人格の一部。 男女同権の理念に基づき夫婦別姓を導入すべきである。	

陳情第3号 日本軍「慰安婦」問題の真の解決を求める陳情
 【陳情者】新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子

委員長報告 不採択	【反対】 三島議員	政府は歴史修正し、未だに加害者責任を認めていない。 女性への暴力と性差別をなくすことが、人の幸せの基本条件。	本会議決定 不採択
	【賛成】 長谷川議員	すでに国家間では解決済みと考える。	

【教育民生常任委員会】

陳情第4号 公定価格の改善、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書
 【陳情者】鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利

委員長報告 不採択	【反対】 三島議員	公定価格の改善は保育士の労働条件の改善となる。 国の負担を引上げ保育条件の改善により、待機児童対策も質の良い保育も前進する。	本会議決定 不採択
	【賛成】 加藤議員	保育士の賃金は、公務員においては格差がない。	

陳情第5号 厚生労働省による公立・公的病院の公表の白紙撤回と地域医療の充実を求める意見書の提出を求める陳情
 【陳情者】鳥取医療労連組合連合会 執行委員長 池原 裕子
 鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田 安一

委員長報告 不採択	【反対】 三島議員	病院の再編・統合は、地方や国民から医療を取り上げるもので許されない。国がすべきは医師不足の解決、医師の労働時間の削減、介護労働者の待遇改善などである。	本会議決定 不採択
	【賛成】 加藤議員	すでに町村会から意見書が出されており、時期的に遅いと思われる。	

陳情番号	陳情原案の採択に賛成：○ 反対：×	議決結果	長谷川	山路	橋井	三島	松本	河中	前田	松田	加藤	井藤
陳情第1号	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×
陳情第2号	選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書提出を求める陳情	不採択	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×
陳情第3号	日本軍「慰安婦」問題の真の解決を求める陳情	不採択	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×
陳情第4号	公定価格の改善、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
陳情第5号	厚生労働省による公立・公的病院の公表の白紙撤回と地域医療の充実を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×

議長は賛否表明しない

村内の現状を把握

閉会中の継続調査として村内視察を行いました。

【総務経済常任委員会】

村有財産管理について

令和元年12月18日

土地交換および取得後の土地の現況と、その利用目的が履行されているか調査した。

うなばら荘北側の松林、小学校の体験ほ場、川ざらの土砂置き場、農業用堆肥の実験ほ場、村民農園、保育所の体験農園を視察。村民農園の利用者が少ないなど、それぞれに課題があり、課題解決に努めるよう求めた。



▲利用増がまれる村民農園

【教育民生常任委員会】

令和2年2月18日

村の災害対策について



▲福祉センター非常用発電機

災害時における緊急防災の現状と、福祉避難所の対応について調査を行った。

ヴィンステヒえづでは2階に緊急防災設備があるが、防災訓練でも稼働させることが重要だと感じた。

社会福祉センターには、浸水予想を超える高さに非常用発電機が設置されている。福祉避難所として機能させるため、行政との連携を密にする必要性を感じた。

【教育民生常任委員会】

障がい者就労支援事業

令和元年12月18日

NPO法人大地・地域活動支援センター「いちごの広場」の視察を行った。

いちごの広場は、就労継続支援B型（授産的な活動を行いながら利用する）の事業所である。

国は社会福祉法人の統合を進めており、障がい福祉サービスを提供する事業者にとって、今後、厳しい状況が予想される。ただし、障害者総合福祉法をはじめ福祉関連施策は、少しずつ良い方向に向かっていくとのこと。

今後も引き続き健全な運営をするためには、地域に根ざした活動が大切であると説明を受け、議会としても支援すべきと感じた。

いちごの広場

- 「一期一会」の思いから平成14年に発足。平成25年就労継続支援B型事業開始
- 平成27年、ヴィンステヒえづ内で「くつろぎカフェいちご」営業開始
- 平成28年、新規施設へ移動、生活介護事業開始
- 令和2年、農作業場稼働開始

●定員20名（就労継続支援B型14名・生活介護6名）



▲就労支援 ねぎの出荷作業

一般質問

村政に

喝



5人の議員が
質問しました。



3月3日(火)

議員	ページ	質問事項
松田 悦郎	9	1. 下口地区の通学路を安全に 2. 村内道路路線名の見直しを
山路 有	10	1. 出かける保健体制の推進を 2. (株)ウシオ進出に行政指導を 3. 行政の組織強化を
前田 昇	11	1. 総合計画の策定に、村民参画の工夫を 2. ヴィレステひえづの運営の見直しを 3. 新しい子育て施設の検討手順は
三島 尋子	12	1. 人生100年の課題と対策は 2. 高齢者の補聴器購入助成を
加藤 修	13	1. 中田村政初予算の目玉は 2. 日吉津村音楽祭の今後について

※一般質問：議員は、村の一般事務について、定例議会の際、個別に質問することができます。議案にない課題でも、あらかじめ質問の要旨を通告し、本会議において（本村の場合）80分までの時間制限のなかで、村執行部からの答弁に対し、再質問を行います。村の施策や制度への提案やチェックにもつながる重要な活動です。



松田悦郎 議員

下口地区の通学路を安全に

村長 具体的な計画に至っていない



▲通学路はこの狭い道路で大丈夫？

Q

今回2回目の質問となるが、下口地区通学路は大変危険である。何らかの対応を示されたい。

A

村長の通学路は、各地区の交通事情を勘案し、小学校、PTAなどの協議により指定している。

村長

現在は、外側線の引き直しや減速マークを設置し対応している。本来、通学路は、道路幅を拡幅し、歩道が分離されていることが最善である。下口地区旧国道沿いは住宅が密集しており、現実的にはむずかしい。その状況をふまえ、道路に狭さく部を作り、

車の減速対策をしたいが、そのためには沿線住民の方のご理解が必要となる。小学校では、随時交通安全指導を行い、地域の方にもご協力をいただきながら、安全に通学できるよう取り組みを進めていきたい。

現在、新しい通学路については、具体的な計画を立てるまでには至っていない。

Q

現在の道路名がしにくい名称が多い。道路名の頭に自治会名を入れるなど見直しはできないか。

A

村道は、起点・終点など議会の議決をへて、認定してい

村内道路路線名の見直しを

村長 変更すれば多少の混乱をまねく

る。

現在、村道は68路線あるが、理解しにくい路線名があるのは認識している。

自治会名を付けるのも、一つの考え方としてあるが、現在の路線名に親しんでいる方からすれば、路線名の変更は多少の混乱をまね

く恐れもある。

事務的には、道路台帳をはじめとした各種資料や統計データ等の修正が必要となるので、今のところ路線名の変更はむずかしい。



▲「古屋敷線」は江戸時代、近くに集落があったことを由来としている



山路 有 議員

出かける保健体制の推進を

村長 来年度から一体的に推進する

Q 2025年は、高齢化のピークと言われている。

わが村の高齢者の安心・安全対応として、「緊急通報装置」の対

象者範囲を拡大し、普及、推進を図ってはどうか。

また、健康寿命延伸のために「待つ保健体制」から「出かける保

健体制」を推進してはどうか。

A 村長 ひとり暮らしの高齢者等の急病や緊急時に対応する「緊急通報装置」貸出し件数は、令和2年1月末時点で1件である。

貸し出し対象者の範囲を拡大することについては検討したい。「待つ保健体制」から「出かける保健体制」は推進する。

地域への訪問は「地域包括支援センター」と協力し、来年度から健康寿命延伸に向けた保健事業と介護予防を一体的に推進する。

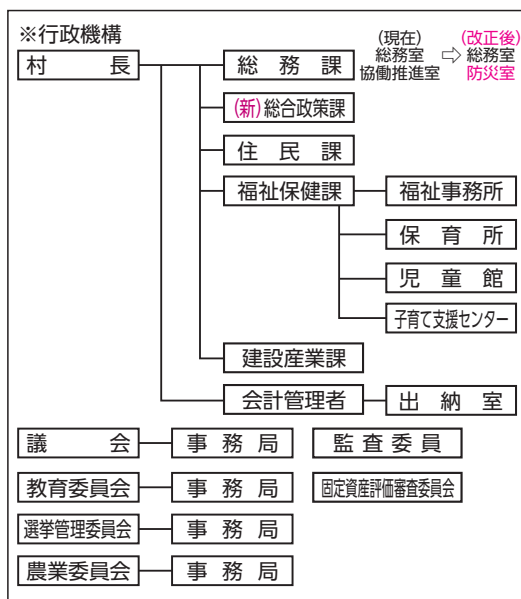
(株)ウシオ進出に行政指導を
村長 再三の指導をしている

Q (株)ウシオ進出は、話があつてから10年近くなるが、進展がなく地権者の不安は募るばかりである。

行政の立場として、少なくとも地権者の不安を払拭する責任があると考えが。

A 村長 令和2年1月、開発業者と箕蚊屋土地改良区の協議が完了し、現在は詳細設計等を行っている。

村から開発業者に対して、地権者と協議、



▲新体制での村づくりに期待

報告を行って十分な理解と協力関係の構築を図るよう、再三指導している。

行政の組織強化を
村長 新しい組織体制を提案している

Q 令和元年6月、定例会において、最近の社会状況、自然災害等に鑑み「防災監、副村長の設置は急務である」と質問した。

村長答弁は「少し時間을いただけ、役場全体の組織強化を協議す

る中で検討させていたいただきたい」とのことである。検討結果を伺いたい。

A 村長 令和2年度の組織体制について、今議会に課制設置条例の改正案を提出している。

新しく総合政策課、総務課に防災室を設置した。

防災監、副村長の必要性については、認識しているが、引き続き検討する。

をいただけ、役場全体の組織強化を協議す



▲まちの保健室風景
出かける保健体制の第一歩



前田 昇 議員

総合計画の策定に、村民参画の工夫を

村長 策定委員会にて意見をいただく



▲次期の総合計画には、SDGsを盛り込みたい

Q 新年度は、今後10年間にわたる第7次総合計画の策定の年。村・村民を取り巻く社会環境の変化など、まず役場が村民へ情報提供すべきでは。

A すでに人口減少社会となった今、日吉津の村づくりをいかにするか。ご指摘のように、SDGsやソサエティ5・0など、新しい課題もあるので、情報提供していきたい。

Q これを機に、一人でも多くの村民に関心を高めていただくよう、アンケート結果を早く公表したり、村民同士で意見交換できるような場を設けてほしい。

A まずは、第6次総合計画の振り返りをし、村民委員による策定委員会にてご意見をいただくが、なるべく多くの方に参加いただきたいと考えている。

ヴィンステヒえづの運営の見直しを
村長 運営審議会にて
意見をいただく

Q ヴィンステヒえづは、まもなく開館5周年。現状の各部屋の利用状況、村民の学習利用などを分析して、その運営方針を見直すべき。とくに「健康相談室」については、村民の利用へ門戸を開くべきでは。

A 5年間を振り返り、まずは、ヴィンステ運営審議会の皆さんからご意見を伺いたい。その後、ヴィンステ応援団やヴィンステ楽座の皆さんをはじめ、村民の皆さんにもご意見をいただき、検討したい。



▲村の歴史が展示されている民俗資料館

新しい子育て施設の検討手順は
村長 職員プロジェクト
で素案を作成中

Q 新しい保育や子育てについて、専門家からのアドバイスも村民へ情報提供すべき。民俗資料館は資料の収集や保存の役割も重要だ。

A 基本計画の素案をもとに、6月頃には説明会を開催したい。

その後、パブリックコメントなどで、村民の意見をいただき修正のうえ、夏頃から「基本設計」に取りかかり、来年2月頃には完成させたい。
民俗資料館については、新しい複合施設の階段や廊下などに展示し、日常的に見えるように工夫したい。



三島尋子 議員

人生100年の課題と対策は 村長 生活習慣病予防の村づくり

Q 厚労省は、人生100年時代を迎えるにあたり、疾病予防・健康づくりを強化し、内容を充実させるとしている。

第1期国保保健事業計画に定めた、事業実

施による課題と対策は。

A 村長

村の課題は、脳血管疾患の死亡率が高い、生活習慣病のリスクを持った住民が多い、健診未受診者の生活習慣病早期発見がで

きていないこと。

施策の柱は生活習慣病とし、予防の村づくり、発症予防、重症化

予防。健診結果の悪かった人や治療中断者の家庭を訪問し、改善指導をしている。

Q 包括支援センター、予防・健康づくりがワンチームとなる機構改革で、ヴィレステで一体的に取り組み考えは。

高齢者から、役場へは気軽に相談に行きにくいと聞く。住民目線の窓口体制が大事では

Q 高齢者の保健事業と介護予防の一体的取り組みは。

村長

国保データベース活用、出かけていく支援、通いの場拠点として、高齢者の特性をふまえ、一人ひとりに対応する。

連携して健康寿命延伸に向け取り組む。

A 現在、福祉保健課にあることで近年の新しい課題にも、他所属との連携も図れ、ワンストップサービス提供が可能。

村長

福祉保健課長 窓口対応には課題がある。気軽に相談できるようにしたい。

高齢者の補聴器購入助成を

村長 先進地事例を参考に研究

Q 加齢による難聴は、生活に支障をきたす。認知症につながることから、補聴器購入に助成する自治体が広まっている。

村長

認知症予防・健康づくりとして助成を。

A 福祉保健課長 年齢・所得制限・医師の意見書など基準を作っている。

先進地、近隣状況を見て、独自のものを検討してみたい。

A 村長 全国の一部の自治体で助成している

自治体で助成している



▲健康づくりで新型コロナにも負けません



▲加齢による難聴に補聴器を



加藤 修 議員

中田村政初予算の目玉は

村長 **すべての事業が重要と考える**



▲解体予定の日吉津保育所

Q

中田村政の、初予算である。

日吉津丸の方向性に
にぎる、目玉事業を示
し、当初予算の概要と
村長の思いを伺う。

A

村長

施政方針で申
しましたとおり初めて
の予算であり、すべて
の事業が村民のみなさ
まの理解と協力のもと
行っていくべきものと
認識を新たにしました。

歳入については、こ
れまでの実績および今
後の経済動向等を、十
分に検討するとともに
新規財源の捕そく、使
用料・手数料等の応益
負担により、積極的に
収入増加に努める。
歳出としては、最小
の経費で最大の効果を
あげるために、アウト
ソーシングなど事務事
業の効率化に努める。
まず、子育て関連は

保育所等の複合施設の
新築工事の基本設計と
実施設計、また現在の
建物の解体工事の設計
委託費を計上した。
教育関係では、地域
と一体となった学校、づ
くりをめざし、コミュ
ニティスクールの組織
づくりに取り組む。
もう一点、子どもの
精神的な寄り添いの場
として、教育支援セン
ターを設置する。
農業関連では昨年度
村長と語る会・農業の
未来を語る会を開催し、
課題等をいただいた。
今後は、各団体のみ
なさまと議論を深め、
よい方向性・具体的
施策を考えていきたい。
防災対策では、総務
課内に防災室を設置し、
関係機関と連携強化を。
総合政策課を設置し、
Uターンや結婚・就職
等の窓口とする。

Q

村制130周
年を機に開催さ
れた日吉津村音楽祭の
成果と、今後の取り組
みは。

A

教育長

成果としては、
多彩なジャンルのプロ
グラム内容で楽しめた

日吉津村音楽祭の
今後について
来年度も
行いたい
教育長



▲米子西高生のみなさん

ことである。
村においても、たく
さんの方が演奏活動等
を行っているというこ
とが認識できた。
今後の取り組みとし
ては、集客のための広
報活動や、運営スタッ
フの増員、2部構成等
の工夫などがある。
村の音楽文化に寄与
することを目指して、
来年度も行いたい。

交通安全対策

多い交差点の解消に向けて～



重松由理子さん



杉本 和久さん



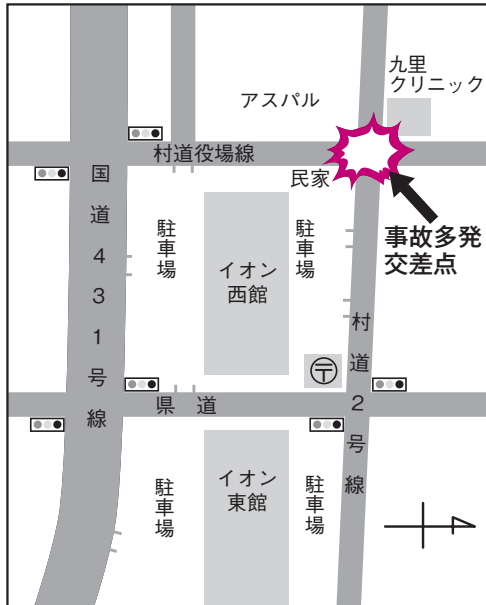
白岩 正幸さん

請願者

「念願の信号機がつき
そうで、大変喜んでい
ます。これで、子ども
をはじめ、多くの人が
安全に通行できます。
ご協力を頂いたみな
さんに感謝します。」



イオン北側
(村道2号線から事故交差点へ)



略図

村道役場線(旧県道)と村道2号線との交差点は、村内でいちばん交通事故の多い交差点となっています。
議会では、平成25年ころから、村長に対し交通安全施設の整備を求める質問をたびたび行い、村民からの信号機設置を求める請願書を二度にわたり全会一致で採択し、必要な対応を求めてきました。
これに対して各種の事故防止対策がとられてきましたが、事故は減少せず、信号機設置による根本的な改善が求められています。

議会の動き

- 一般質問(加藤議員・山路議員)
- ・平成26年6月議会から令和元年6月議会までの定例会において、改善を求め合計8回にわたり質問
- ◎請願受理
- ・平成27年3月議会および平成30年12月議会
- 会において受理
請願者 杉本和久他
2名(日吉津村)
早期改善の必要性を認め全会一致で採択
- ◇議決等
- ・令和元年12月議会
村道改良調査設計委託料議決
- ・令和2年3月議会
工事関係経費等議決

追跡 大きく動き出した ～村内で交通事故が一番

子ども見守り隊

隊員 高橋健治さん
「これまで、ヒヤッと
する場面を見えています。
マナーの悪い運転者か
ら子どもを守ってやれ
ます。」



イオン配置警備隊長

岩田憲史さん
「一時停止をしない車
両が多く、信号機を設
置されるのは良いこと
だと思っています。」



現場直近

九里クリニック
院長 九里友和さん
「大変喜んでいきます。」



イオン西側
(国道431号から事故交差点へ)

事故が確実に減ると思
います。」



役場前住民課長

清水香代子さん
「道路改良事業の予算
化につきましては関係
者の皆さまや地域の
方々の地道な活動のた
まものと思っています。」

日吉津小学校

教頭 河本里美さん
「これで、子どもが安
全に通学できます。感
謝しています。」

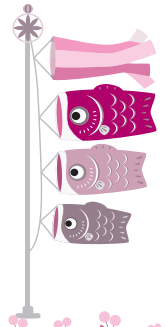


推進の概要

○平成25年度
カーブミラーの補強、
「とまれ」表示看板の
設置、イオン警備員の



- 平成26年度
配置(協力)
一旦停止の路面標示と
大型オーバーハング標
識設置
- 平成27年度
交差点への信号設置の
可能性について検討開
始
- 平成28年度
交差点内のカラー舗装
実施
- 平成30年度
「事故多発」の路面標
示実施
- 令和元年度
信号機設置には交差点
改良が必要と判断。地
権者等に説明
- 令和元年度
交差点直近に「黄色警
告灯」を設置
- 令和2年度
村道改良調査設計開始
工事関係経費上程
- 今後の展開
事業推進環境の迅速な
整備
用地買収、移転補償等
を迅速に実施する
- 設置信号機の確保
関係機関へ早期に協力
要請をする
- 危険箇所の発生予測と
対応
事業推進に伴う危険箇
所を予測し、今後の対
応を検討する
(用地等の先行取得)



日下(連合自治会長)

中井健夫さん

3年目

日上2

山内康成さん

1年目

日上1

青山高志さん

3年目

海川

川原邦建さん

1年目

富吉

松田義人さん

3年目

樽屋

高井正夫さん

1年目

今吉

江田尚博さん

2年目

※インタビューは3月に実施

役員交代は上手く
いっている？

● 近年受け手がなくて苦勞する。役員にと頼まれた方は、万難を排して受けていくような伝統を、引き継いでもらいたい。

● 選考委員会での選出はなかなかむずかしい。自治会長は選挙をするぐらい立候補者がいるべき。

● 班ごとに順番で1年交代。世代交代して10年ほど若返りが必要。

● 年齢順で、やってくる人がいないので強制的。大体副会長が次の会長に就く。

● 候補を決め頼みに行くが、難航する。

● 選考委員が役員を引き受けることがないよう頑張っている。

● 輪番で各班から役員を出し決める。数年先までローテーションを組んだ班もある。

自治会ならではの良さは

● 葬式は自治会がお世話するのが伝統。いざという時には自治会、それが良さ。球技大会・芸能大会・川掃除など一緒にするので、いろんな話題があって楽しい人間集団だなと感じる。

● 高齢化になって、向こう三軒両隣で声をかけあって、助けあうところが一番の良さ。

● 何か企画する時に、組織があるとメンバーを集めやすい。提案して賛同が得られればス

逆に苦勞は？

ムーズにいくし、役割分担もできる。一人だとパンクする。

● イベントの人集め。なかなか選手が集まらない。「何とかしてこないやい」と集まってもらって、なんとかやっている。

● 運動会は半日くらいが良いのでは。子どもが少なくなると「親子でエッサッサ」などで得点種目には出たくなると言っている。

● 運動会の選手集め。若い人には1人4種目ぐらいお願いしている。

● 新型コロナウイルス

たかがゴミというけれど



の影響で総会が開けず、書面で決議にした。ぶ厚い書類を封筒に入れ全戸に配布した。

● しゃべりが苦勞なので、挨拶に苦勞した。

● 名前を書いて出すという意識が乏しく、分別し直して出すこともある。余分な仕事がある。

● ゴミステーションの管理が大変。村は自治会にまかせつきり。3か所は網を張つてきちつと整備した。

● 公民館内の粗大ごみ。壊れた冷蔵庫、ブラウン管テレビ2台、ロッカー、石油ストーブなどを処分した。

● 自治会内のゴミ出しはバツチリ！ただ、川に流れてくるゴミ拾いが大変。レジ袋、コーヒーの缶、ラーメンのカップなどがボンボン流れてくる。

● 田んぼにコンビニ弁当の容器が捨ててあり対応に追われる。田んぼはゴミ箱ではない。



自治会の大黒柱

7人の自治会長さんにお聞きしました

村民
インタビュー

これまでで一番
嬉しかったこと

● 世話役だからいろんな人と知り合いになる。こちらが知らない人でも向こうから挨拶してもらえ、知らない子どもでも挨拶してくれるとうれしい。

● 夏休み中の子どもたちのラジオ体操に大人の参加を呼びかけたら25人も参加者があった。皆勤賞も1人いた。



● 夏祭りは自治会を挙げてやるが、子どもも年寄りも普段の倍以上集まる。

● たまり場があつて(笑) そこで得る情報で人を知ることになり自治会は皆で見守っている見守り隊なんだなあ気がついた。

やりがい・役割

● 自治会としてきちんと言語ができて、いろんなイベントもうまくいってよかったなど。

● 自治会員から要望があれば、すぐに対応することが大切。コミュニケーションが盛んになるような自治会にならないといけない。

● 住民のストレス解消の役割ができれば、いいのではないかと。

● 赤字が続いていたので、削って削って黒字になって公民館にエアコンを3機付けた。便利屋かも知れないけど「ノー」とは言わないこと。



松田さん

申井さん

山内さん

● 役割はみなさんに理解してもらおうこと。やりがいは、これまでの懸案が解決したこと。

議会へ一言

● 議会も若手が入ってきて、積極的にいい運営ができています。いい状態ではないかと思う。

● もっと議会提案をしてほしい。行政のチェック機能ばかりでは良くない。そうすれば村民も議員に期待感を持って、いろいろな意見を述べられると思う。

● 村民パトロールではないが、住民の状況把握を議会でもやってもらえるとありがたい。

「ぎかいと語る会」ばかりではなく、今の状況をいち早く把握して対応してほしい。

● 広報は読んでいます。字が大きくて読みやすい。

これも自治会長の仕事？!

● 去年6月にネコが子ども4匹連れて自治会内を歩いていった。ギョッ、大騒ぎ。「何とかせんとどんどん増えるよ」と連絡があり、大捕り物が始まった。子ネコ4匹のうち、長男と末っ子はとり逃がしたが、親猫は仕掛けたワナに入っていたので、役場で補助金をもらって去勢手術をした。

秋になってまた猫の子どもがいると連絡があり、里親探しをしている間に……今、家で飼っている(笑)。

● 工場の物ではないかと思うほど、大量の段ボールがリサイクルハウスの入り口に置いてあった。役場に連絡して持って帰ってもらった。



ご協力ありがとうございました

議会のうごき

佐賀県基山町来村

とき 1月28日(火)
ところ 日吉津村役場

佐賀県基山町議会から議会広報について視察を受けました。

基山町は、佐賀県の東端に位置する人口1万7千人余の町。議会中継は、インターネットで配信しているものの、ケーブルテレビによる放送はありません。そこで土日の議会を開催し、延べ142人もの傍聴者を集めたとのこと。議会活動への関心を高める取り組みがなされていました。



▲8名の方に来村いただきました。

栃木県芳賀町来村

とき 2月17日(月)
ところ 日吉津村役場



▲6名の方に来村いただきました。

栃木県芳賀町議会から、子育て支援施策について視察を受けました。

社会動態において人口は増加しているものの、自然動態では停滞しており、本村と同様の傾向にあるとのことでした。類似している本村にとっても参考になる意見交換ができました。

第27回町議会 広報コンクール優秀賞

とき 2月19日(水)
ところ ホテルモナーク

「議会ひえづ」が3年連続の優秀賞に輝きました。しかも今回は県下の町村議会のなかで第2席となる評価をいただきました。

本村の議会広報は、他に比べてページ数は多くありませんが、村民インタビューや議会懇談会の内容などを評価いただいたようです。



編集後記

集記



新型コロナウイルスの影響のもと、「チューリップマラソン」も中止に。水田裏作のため、半世紀近く前に導入された球根栽培—今は生業にはなりません—が、マラソン大会を彩るための関係の皆さんの努力が実るはずでした。表紙は、来年の球根が立派に育つよう、摘花作業中のひと時。同級生の皆さんの応援、お疲れさまでした。ご褒美は、気分爽快と免疫力アップですね。

—前田 記—

表紙

チューリップの花摘み作業中の皆さん



【議会広報広聴常任委員会】

前田 昇・松本二三子
井藤 稔・長谷川康弘
河中 博子